

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
35002	X-21-B-3-350020	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
国際研究特論 1	越智 敏夫			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

現代アメリカの諸問題：その市民社会状況について

担当教員（越智）は2017年から2018年にかけてアメリカ合衆国で在外研究をおこなった。2017年8月から12月にかけてはノースカロライナ大学チャペルヒル校、また2018年1月から8月にかけてはカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)に所属し、それぞれ研究をおこなった。これはトランプ大統領就任の初年度の後半から二年目の前半にあたる。本講義はこの間の研究成果を学生に提示することが目的である。具体的には当該時期のアメリカ社会の問題を政治文化論的見地から分析し、それらの問題の同時代的な意義について検討、考察する。特に、現在の混迷しているように見えるアメリカ社会の状況を「市民」という概念を中心に考えたい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】1 はじめに：アメリカ市民社会の現状
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第2回

【授】2 人種差別
2-1 人種差別の発生
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第3回

【授】2-2 人種差別の是正
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第4回

【授】2-3 人種差別の現在形
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第5回

【授】3 アメリカ社会における暴力：銃乱射事件
3-1 アメリカ憲法の基本構成
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第6回

【授】3-2 銃保持の思想：人民武装論
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第7回

【授】3-3 銃規制反対派とNRA（全米ライフル協会）
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第8回

【授】4 アメリカ社会におけるポピュリズム
4-1 トランプ大統領支持の構造
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された諸概念を自分の言葉で再整理しておくこと。

第9回

【授】4-2 反知性主義
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第10回

【授】4-3 「草の根」市民主義
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第11回

【授】4-4 ポピュリズム再考
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第12回

【授】5 歴史認識と公平な社会
5-1 南北戦争記念碑の撤去
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第13回

【授】5-2 ネイティブの歴史は誰が語りうるのか
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第14回

【授】5-3 #MeeToo
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第15回

【授】6 おわりに：日本とアメリカ
【前・後】【予習2時間、復習2時間】当該講義内で説明された政治的事件の意味を本講義前半で説明された諸概念によって整理しておくこと。

第16回

【授】定期試験
【前・後】【予習2時間、復習2時間】全体をまとめ、自分の見解を整理しておくこと。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	20	20	20	20	20		100
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

学期末の筆記試験（持ち込み不可）のみで評価。

なお講義内容によっては、講義終了時に受講生にコメントカードを提出してもらおうが、それらへのフィードバックとして、次回講義中、必ずその記述内容に対する教員側の意見を公表する時間を確保する。また、講義全体のフィードバックとしては、定期試験採点后、各年度の答案に共通してみられる傾向や問題点などについて、教員個人のウェブサイト上で公表する。またそれらの傾向や問題点が特に重要で、全受講生に告知する必要があると認められる場合には、大学ポータルサイトの一斉メール配信システムを利用して全受講生に告知する。

教科書参考書

教科書なし。参考文献は講義中に適宜指示する。また図書館のサイトの「指定図書リスト」を参照のこと。

受講に当たっての留意事項

アメリカ社会に限らず、現代社会に対する強い関心を持っている学生に受講してもらいたい。本講義の受講によって、それまでの学習の思想的意義を再検討し、現代アメリカの諸問題がいかに他の政治社会の現状とむすびついているのか、確認してもらいたい。

学習到達目標

アメリカ社会に象徴的に現れている諸問題を思想的に考える「癖」のようなものを身につけてほしい。それは社会を構造として考えることでもあり、市民としての自覚をもつことでもある。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習